

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 28 週（7 月 8 日～7 月 14 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	6 人	類型	患者 3 人 無症状病原体保有者 3 人
		血清型	O157 4 人、O128 1 人、 不明 1 人
四類感染症 レジオネラ症	4 人	病型	肺炎型 4 人
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4 人	菌種	<i>Enterobacter</i> sp. 2 人、 <i>Citrobacter</i> sp. 2 人
	2 人	血清群	A 群 1 人、G 群 1 人
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 人		
侵襲性肺炎球菌感染症	3 人		
梅毒	5 人	病型	早期顕症Ⅰ期 2 人、 早期顕症Ⅱ期 1 人、 無症状病原体保有者 2 人
破傷風	1 人		
百日咳	1 人	年齢階級	3 歳

< 定点把握対象疾患の患者情報 >

新型コロナウイルス感染症(8. 60→9. 97: 図 1-1, 2)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加し、第 19 週以降増加傾向が続いている。保健所別では、幸手(16. 86)保健所管内で非常に多く、次いで南部(14. 00)保健所管内からの報告も多い。基幹定点における入院患者の報告は 90 人(前週 70 人)と前週に比べて大きく増加した。年齢階級別では、65 歳以上が全体の約 76%となっている。手足口病(18. 80→21. 75: 図 2-1, 2)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、鴻巣(34. 36)、南部(33. 60)、川越市(32. 29)保健所管内からの報告が特に多い。年齢階級別では、1 歳及び 2 歳からの報告が多く、全体の約 51%となっている。ヘルパンギーナ(4. 36→4. 28: 図 3-1, 2)の定点当たり報告数は、第 20 週以降増加傾向が続いていたが、今週は前週と同水準であった。保健所別では、前週に引き続き南部(18. 20→19. 00)保健所管内からの報告が非常に多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 6 人、流行性角結膜炎 45 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、細菌性髄膜炎 1 人、マイコプラズマ肺炎 14 人の報告があった。マイコプラズマ肺炎の報告数は 2 週連続で増加した(2 人→8 人→14 人)。年齢階級別では、5-9 歳からの報告が最も多い(9 人)。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第28週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1-1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

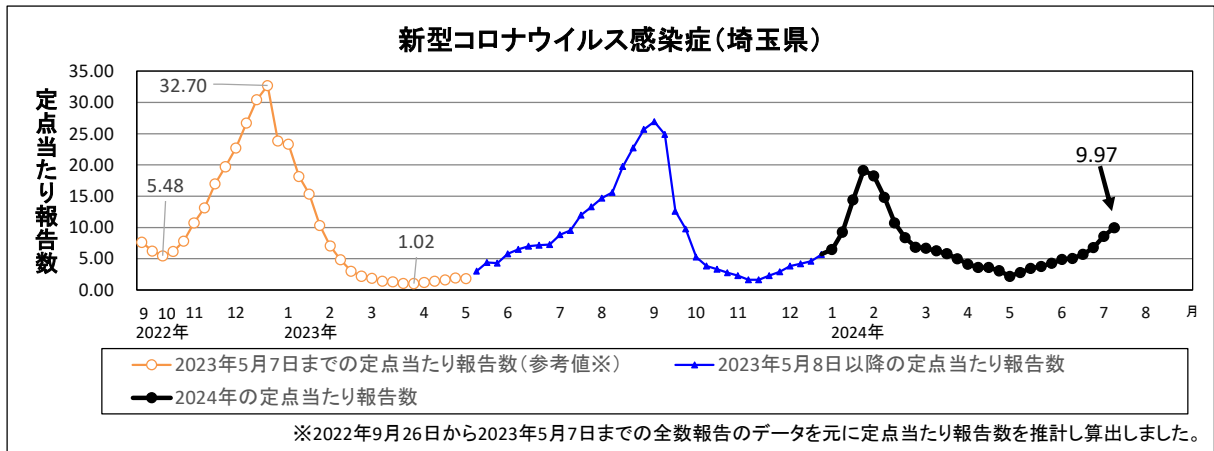
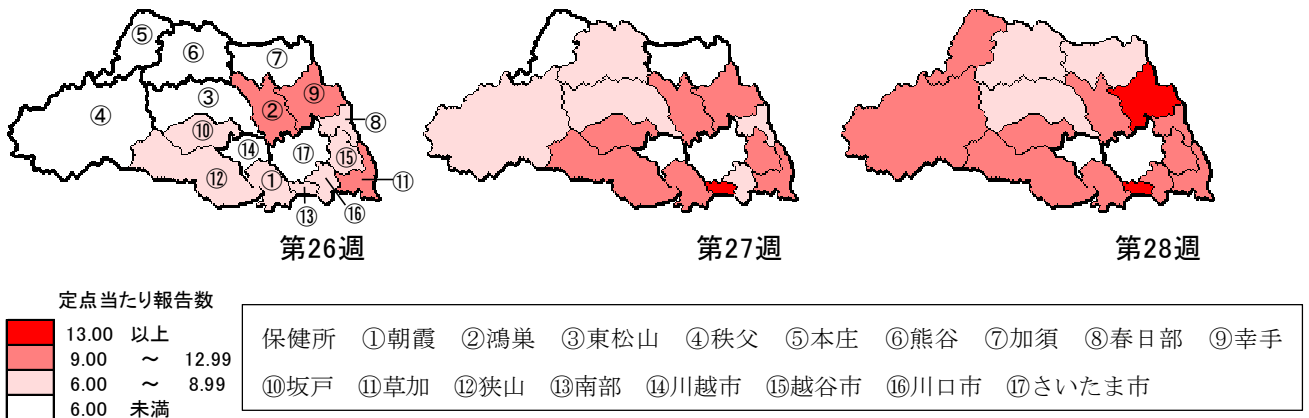


図1-2 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移（2024年第26週～第28週）



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2-1 手足口病の定点当たり報告数の推移

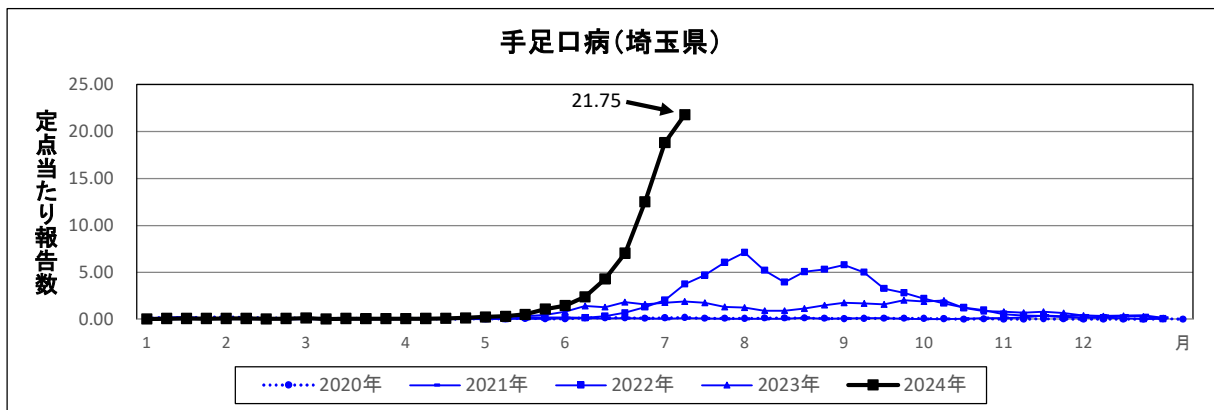


図 2-2 手足口病の保健所別流行状況の推移 (2024 年第 26 週～第 28 週)

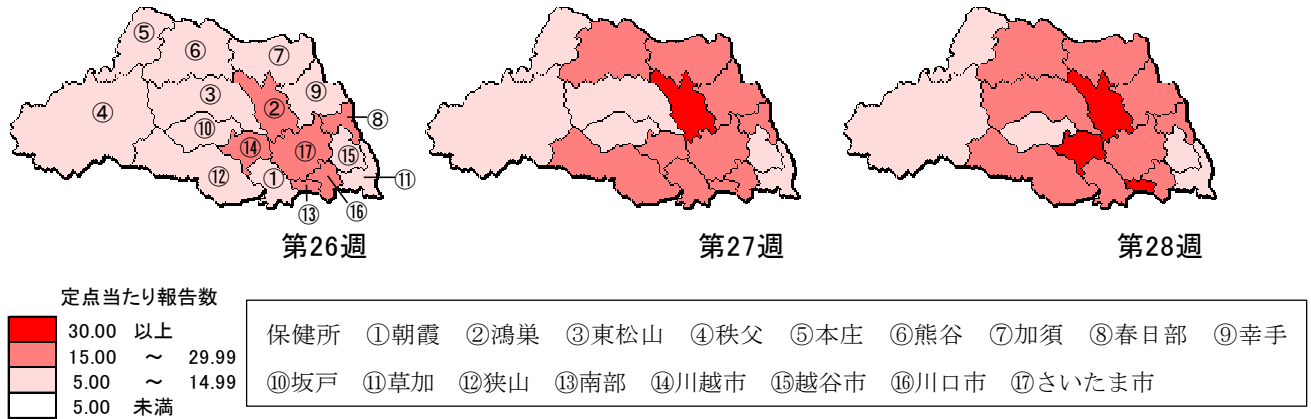


図 3-1 ヘルパンギーナの定点当たり報告数の推移

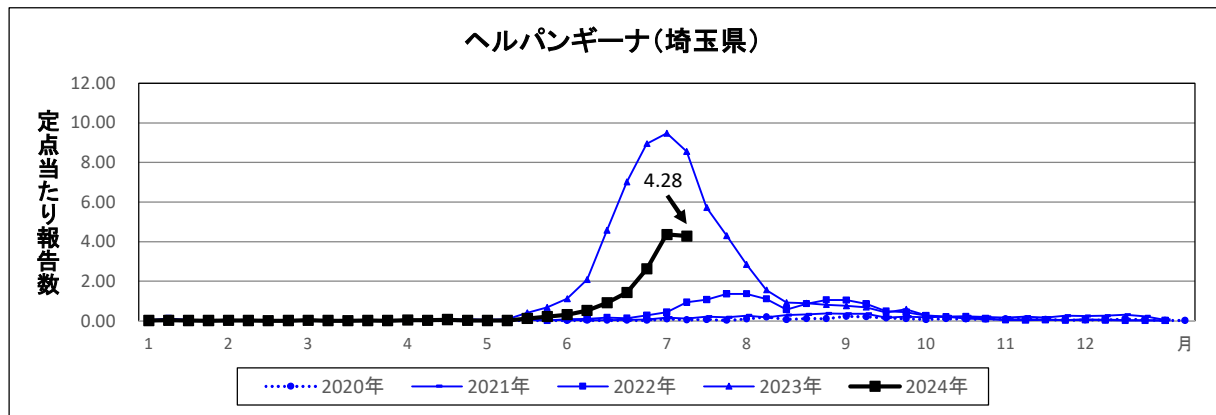
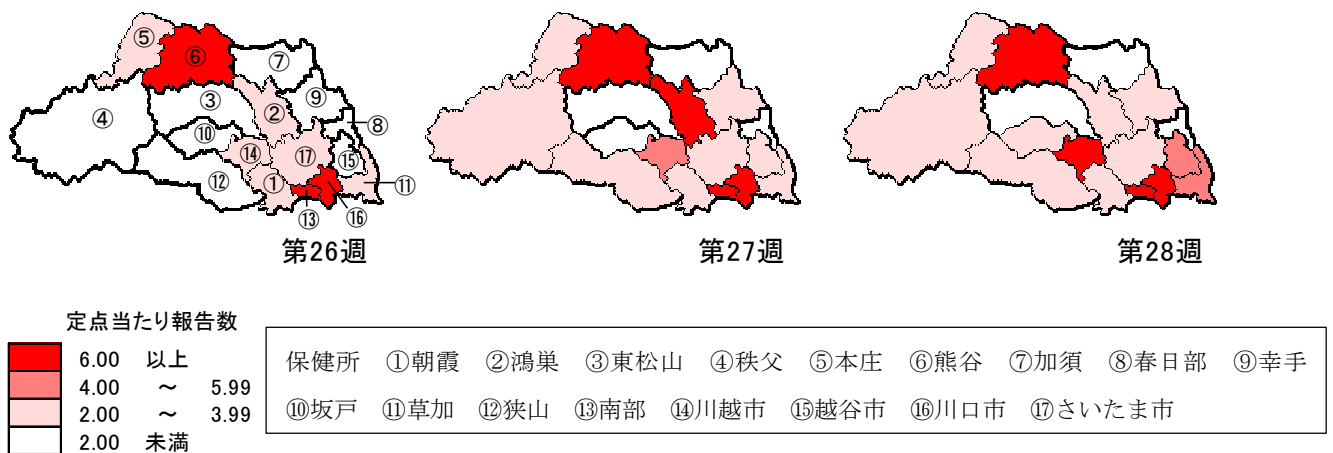


図 3-2 ヘルパンギーナの保健所別流行状況の推移 (2024 年第 26 週～第 28 週)



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第28週)

(2024年7月16日 15:30集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	6	71			
四類感染症					
E型肝炎		24	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		2
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	4	58
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		5	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		13	侵襲性肺炎球菌感染症	3	55
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		7	水痘(入院例に限る)		1
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	46	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	5	233
急性脳炎		15	播種性クリプトコックス症		7
クリプトスポリジウム症			破傷風	1	2
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	79	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		19	百日咳	1	40
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		14	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2024年6月分)

2024年6月の届出総数は、患者43人、無症状病原体保有者18人の計61人で、患者数、無症状病原体保有者数ともに前月の値を上回った。過去1年と比べると、患者数及び無症状病原体保有者数は同水準であった。推定感染地域は国内35人、国外9人、不明17人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2023年6月～2024年6月)

	2023年*								2024年						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	累計**	
総計	68	57	59	62	50	59	76	69	72	55	53	51	61	361	
年齢階級															
10歳未満	4	1	1	0	0	0	5	2	1	1	2	2	1	9	
10歳代	1	1	0	1	1	1	0	0	2	0	1	1	0	4	
20歳代	7	14	5	6	3	2	8	2	6	8	7	6	3	32	
30歳代	1	1	3	2	3	6	7	9	6	1	3	2	6	27	
40歳代	5	2	1	3	2	4	3	4	8	6	5	4	5	32	
50歳代	6	5	5	10	5	10	5	6	9	5	6	5	8	39	
60歳代	8	9	5	10	10	8	12	6	12	3	3	7	9	40	
70歳代	12	14	19	7	10	8	10	16	10	12	11	9	10	68	
80歳代	18	7	16	17	15	17	17	19	14	15	9	12	13	82	
90歳以上	6	3	4	6	1	3	9	5	4	4	6	3	6	28	
性															
男	38	38	40	40	29	39	44	36	48	30	27	27	37	205	
女	30	19	19	22	21	20	32	33	24	25	26	24	24	156	
類型															
患者	35	47	49	49	34	42	41	46	43	36	37	40	43	245	
感染症死亡者の死体	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染症死亡疑いの死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	
無症状病原体保有者	32	10	10	13	16	17	35	22	28	19	16	11	18	114	
病型															
肺結核	27	37	35	38	28	26	31	31	30	20	22	24	32	159	
肺結核及びその他の結核	5	3	7	2	2	7	5	5	2	3	5	4	1	20	
その他の結核	4	7	7	9	4	9	5	10	11	13	10	12	10	66	
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	
無症状病原体保有者	32	10	10	13	16	17	35	22	28	19	16	11	18	114	
推定感染地域															
国内	42	27	37	42	31	35	50	47	37	25	34	29	35	207	
国外	3	11	5	4	1	6	3	3	8	4	6	6	9	36	
不明	23	19	17	16	18	18	23	19	27	26	13	16	17	118	

*:2023年の届出数は暫定値

** :2024年1月からの累積届出数

6月に診断された61人を病型別にみると、肺結核は20歳代以上の年齢階級から計32人の報告があり、60歳代以上が18人で約56%であった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2024年6月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	32	1	10	0	18	61
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	1	1
10歳代	0	0	0	0	0	0
20歳代	2	0	0	0	1	3
30歳代	2	0	1	0	3	6
40歳代	2	0	0	0	3	5
50歳代	8	0	0	0	0	8
60歳代	5	0	1	0	3	9
70歳代	4	0	2	0	4	10
80歳代	5	1	5	0	2	13
90歳以上	4	0	1	0	1	6

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第28週

7月8日~7月14日)

保 健 所	報告数	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1																				
全 県	報告数	29	2,582	111	126	606	766	55	3,524	29	46	693	15	6	45	1	-	14	-	-	-	90
	定点当たり	0.11	9.97	0.69	0.78	3.74	4.73	0.34	21.75	0.18	0.28	4.28	0.09	0.14	1.07	0.08	-	1.17	-	-	-	7.50
朝 霞	報告数	2	267	18	7	66	91	8	371	2	5	59	-	-	3	1	-	-	-	-	-	15
	定点当たり	0.09	11.61	1.20	0.47	4.40	6.07	0.53	24.73	0.13	0.33	3.93	-	-	0.75	1.00	-	-	-	-	-	15.00
鴻 巣	報告数	1	233	7	19	28	44	1	378	2	-	37	3	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.06	12.94	0.64	1.73	2.55	4.00	0.09	34.36	0.18	-	3.36	0.27	-	-	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	-	64	-	-	9	49	1	75	-	1	9	2	-	-	-	-	-	-	-	-	10
	定点当たり	-	8.00	-	-	1.80	9.80	0.20	15.00	-	0.20	1.80	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	10.00
秩 父	報告数	-	51	5	1	8	-	-	34	-	1	7	-	*	*	-	-	-	-	-	-	4
	定点当たり	-	10.20	1.67	0.33	2.67	-	-	11.33	-	0.33	2.33	-	*	*	-	-	-	-	-	-	4.00
本 庄	報告数	1	64	-	1	-	-	1	40	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.14	9.14	-	0.25	-	-	0.25	10.00	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
熊 谷	報告数	-	106	1	8	29	35	1	169	1	2	50	-	-	2	-	-	-	-	-	-	4
	定点当たり	-	8.15	0.13	1.00	3.63	4.38	0.13	21.13	0.13	0.25	6.25	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	4.00
加 須	報告数	1	82	1	6	36	2	3	96	-	2	6	3	-	2	-	-	-	-	-	-	5
	定点当たり	0.10	8.20	0.17	1.00	6.00	0.33	0.50	16.00	-	0.33	1.00	0.50	-	2.00	-	-	-	-	-	-	5.00
春 日 部	報告数	1	117	2	5	45	45	2	171	-	2	11	1	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.10	11.70	0.33	0.83	7.50	7.50	0.33	28.50	-	0.33	1.83	0.17	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	3	236	9	11	63	13	7	161	1	2	24	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.21	16.86	1.00	1.22	7.00	1.44	0.78	17.89	0.11	0.22	2.67	0.11	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	1	119	1	-	6	34	-	87	-	1	21	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	定点当たり	0.10	11.90	0.17	-	1.00	5.67	-	14.50	-	0.17	3.50	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00
草 加	報告数	7	239	7	7	50	62	1	158	4	3	64	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.37	12.58	0.58	0.58	4.17	5.17	0.08	13.17	0.33	0.25	5.33	0.08	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	1	286	10	13	93	40	1	403	1	7	42	-	6	6	-	-	-	-	-	-	7
	定点当たり	0.04	11.44	0.63	0.81	5.81	2.50	0.06	25.19	0.06	0.44	2.63	-	1.20	1.20	-	-	-	-	-	-	7.00
南 部	報告数	2	112	21	9	46	54	-	168	-	1	95	1	-	-	-	-	5	-	-	-	21
	定点当たり	0.25	14.00	4.20	1.80	9.20	10.80	-	33.60	-	0.20	19.00	0.20	-	-	-	-	5.00	-	-	-	21.00
川 越 市	報告数	-	62	1	2	16	12	5	226	3	4	43	-	-	2	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	-	4.77	0.14	0.29	2.29	1.71	0.71	32.29	0.43	0.57	6.14	-	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	-	126	5	5	15	38	1	119	-	7	32	1	-	-	-	-	3	-	-	-	5
	定点当たり	-	9.69	0.63	0.63	1.88	4.75	0.13	14.88	-	0.88	4.00	0.13	-	-	-	-	3.00	-	-	-	5.00
川 口 市	報告数	1	187	6	10	56	81	9	281	14	2	81	1	-	6	-	-	1	-	-	-	2
	定点当たり	0.05	9.35	0.46	0.77	4.31	6.23	0.69	21.62	1.08	0.15	6.23	0.08	-	1.50	-	-	1.00	-	-	-	2.00
さいたま市	報告数	8	231	17	22	40	166	14	587	1	6	100	-	-	23	-	-	5	-	-	-	13
	定点当たり	0.19	5.37	0.61	0.79	1.43	5.93	0.50	20.96	0.04	0.21	3.57	-	-	2.56	-	-	5.00	-	-	-	13.00

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

7月 16日 15:00 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第28週 7月8日～7月14日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	29	-	-	2	1	3	1	3	-	-	1	1	1	-	-	6	2	2	3	2	1	
新型コロナウイルス感染症	2,582	18	29	49	35	26	22	29	20	23	17	28	235	167	286	300	290	346	217	253	192	
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～							
RSウイルス感染症	111	12	22	41	20	7	5	3	-	-	1	-	-	-	-							
咽頭結膜熱	126	2	9	25	14	24	18	11	6	-	7	7	2	-	1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	606	1	6	36	34	43	81	67	62	57	50	42	82	9	36							
感染性胃腸炎	766	9	33	64	69	70	87	64	66	51	47	51	99	13	43							
水痘	55	1	-	5	2	2	3	6	-	6	6	10	13	-	1							
手足口病	3,524	32	252	1,120	668	446	420	298	99	60	41	24	36	2	26							
伝染性紅斑	29	-	1	2	3	1	4	4	3	2	1	2	6	-	-							
突発性発しん	46	-	12	21	9	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	693	5	40	145	145	80	107	87	32	16	14	9	10	-	3							
流行性耳下腺炎	15	-	-	-	1	2	-	2	-	3	3	1	3	-	-							
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	6	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	
流行性角結膜炎	45	-	-	2	3	2	3	1	2	3	1	2	4	-	3	5	8	3	1	2		
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-					
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	14	-	1	9	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
新型コロナウイルス感染症(入院)	90	4	3	1	4	-	-	-	-	-	1	3	1	2	3	5	63					

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第26週 (6月24日～6月30日)

令和6年7月17日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.89)、茨城県(1.18)、愛媛県(0.46)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は28例と前週と同値であった。都道府県別では11都道府県から報告があり、年齢別では0歳(2例)、1～9歳(9例)、10代(2例)、20代(1例)、40代(2例)、50代(1例)、60代(1例)、70代(4例)、80歳以上(6例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(29.91)、鹿児島県(15.42)、熊本県(12.21)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,691例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(52例)、1～9歳(35例)、10代(13例)、20代(30例)、30代(26例)、40代(43例)、50代(91例)、60代(165例)、70代(392例)、80歳以上(844例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(4.61)、沖縄県(4.30)、長崎県(3.64)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は北海道(2.09)、岩手県(1.95)、富山県(1.90)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福岡県(8.21)、山形県(6.61)、北海道(6.34)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(11.61)、熊本県(6.32)、兵庫県(5.88)である。手足口病の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は三重県(22.73)、兵庫県(13.42)、鹿児島県(12.80)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は千葉県(0.37)、東京都(0.35)、青森県(0.32)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は静岡県(3.78)、埼玉県(2.62)、千葉県(2.41)、三重県(2.41)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は滋賀県(0.17)、大分県(0.14)、山梨県(0.13)、佐賀県(0.13)である。

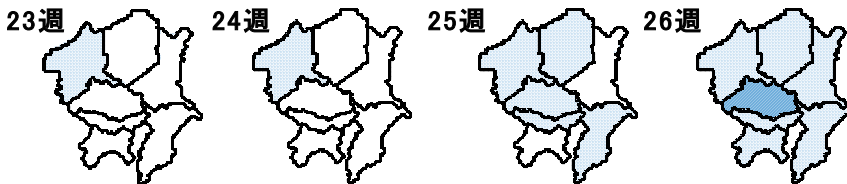
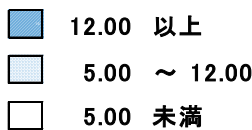
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.14)、香川県(1.80)、青森県(1.33)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。6都道府県から11例報告があり、年齢別では0歳(2例)、1～4歳(1例)、5～9歳(6例)、10代(2例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第26週(6月24日～6月30日): 通巻第26巻 第26号 より

<関東情報>

手足口病の定点当たり報告数は、埼玉県(12.51)からの報告が多い。

手足口病



2024年 26週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
インフルエンザ #1	報告数	966	340	142	12	3	28	40	76	39
	定点当たり	0.20	0.22	1.18	0.16	0.04	0.11	0.20	0.18	0.11
新型コロナウイルス感染症	報告数	28,614	9,715	815	340	291	1,754	1,861	2,334	2,320
	定点当たり	5.79	6.35	6.79	4.47	3.42	6.80	9.17	5.57	6.30
RSウイルス感染症	報告数	4,263	643	55	34	29	115	110	158	142
	定点当たり	1.36	0.67	0.73	0.71	0.55	0.71	0.87	0.60	0.61
咽頭結膜熱	報告数	2,338	596	59	19	63	126	98	127	104
	定点当たり	0.74	0.62	0.79	0.40	1.19	0.78	0.78	0.48	0.45
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	12,021	3,515	466	137	149	664	642	862	595
	定点当たり	3.83	3.67	6.21	2.85	2.81	4.10	5.10	3.27	2.58
感染性胃腸炎	報告数	12,838	3,935	246	95	292	837	610	1,093	762
	定点当たり	4.09	4.10	3.28	1.98	5.51	5.17	4.84	4.14	3.30
水痘	報告数	694	254	9	4	5	68	51	49	68
	定点当たり	0.22	0.26	0.12	0.08	0.09	0.42	0.40	0.19	0.29
手足口病	報告数	26,544	8,949	424	487	416	2,027	1,220	2,609	1,766
	定点当たり	8.45	9.33	5.65	10.15	7.85	12.51	9.68	9.88	7.65
伝染性紅斑	報告数	312	219	-	13	1	11	47	92	55
	定点当たり	0.10	0.23	-	0.27	0.02	0.07	0.37	0.35	0.24
突発性発しん	報告数	1,046	322	21	10	21	70	35	100	65
	定点当たり	0.33	0.34	0.28	0.21	0.40	0.43	0.28	0.38	0.28
ヘルパンギーナ	報告数	4,949	1,987	91	72	80	425	304	632	383
	定点当たり	1.58	2.07	1.21	1.50	1.51	2.62	2.41	2.39	1.66
流行性耳下腺炎	報告数	226	90	3	3	5	20	14	29	16
	定点当たり	0.07	0.09	0.04	0.06	0.09	0.12	0.11	0.11	0.07
急性出血性結膜炎	報告数	24	5	-	-	-	5	-	-	-
	定点当たり	0.03	0.02	-	-	-	0.12	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	468	220	28	8	17	48	22	15	82
	定点当たり	0.67	1.06	1.65	0.67	1.21	1.14	0.65	0.38	1.64
細菌性髄膜炎 #2	報告数	19	2	-	-	-	-	-	1	1
	定点当たり	0.04	0.02	-	-	-	-	-	0.04	0.08
無菌性髄膜炎	報告数	23	5	2	1	-	1	1	-	-
	定点当たり	0.05	0.06	0.15	0.14	-	0.08	0.11	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	187	27	10	1	2	2	1	6	5
	定点当たり	0.39	0.31	0.77	0.14	0.22	0.17	0.11	0.24	0.42
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	11	2	-	-	1	-	-	-	1
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	0.11	-	-	-	0.08

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

感染症発生動向調査
2024年

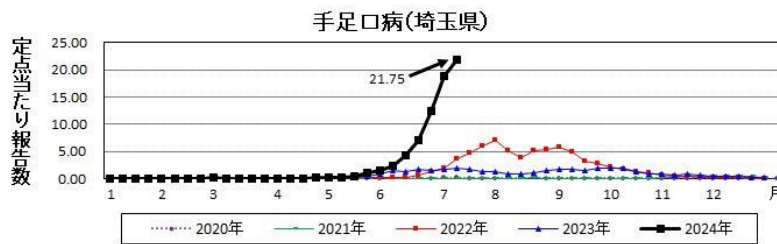
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第21週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第22週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第23週](#)

感染症の流行状況 2024年 第28週

2024年第28週（7月8日～7月14日）の要点

[手足口病](#)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加しました。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	↑	★★★★
新型コロナウイルス感染症	↑	—	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★★	ヘルパンギーナ	→	★★★★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	→	★★★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン